



2020年2月6日 第2406回例会
2月第1例会

RITテーマ ROTARY:ROTARY CONNECTS THE WORLD
「ロータリーは世界をつなぐ」

本年度会長テーマ
「原点を確かめ、もっと親睦、もっと奉仕を！」

「平和と紛争予防／紛争解決月間」

◆ 会長時間 ◆

斉藤会長



当クラブ創立50周年記念日まであと1か月となりました。前日の3月6日には姉妹クラブである台南RCの皆さん31名がお越しになり、18時より当ホテルにて姉妹クラブ再締結調印式を挙行了のち歓迎会を開催いたします。

当クラブと台南RCは姉妹クラブ締結をして27年になります。

1988年、台南RCはクラブ創立35周年を迎えるにあたり、記念事業としてチャリティーオークション基金を集めて、ハンディを背負った人々のための学校建設に役立てようという計画を立て、世界の中から250のRCを選択し、台湾の蝴蝶標本と各地の土産品との交換計画を実施し、当クラブがその250のRCの中に選ばれて呼びかけがあったのが最初の出会であり、当クラブ（平川会長）がこの呼びかけに一番早く応えたのが縁で、台南RC（蘇清祿会長）と情報交換が開始されるに至りました。

その後、同年12月5日の台南RC例会に平川会長ほか10名が初めて表敬訪問し、両クラブの間に友好クラブを締結しました。これについては、当時の小園ガバナーよりガバナー賞をいただいております。

翌1989年5月25日には台南RCの蘇清祿会長夫妻をはじめ10名が当クラブを初めて公式訪問されました。

その後、4回にわたる相互の公式訪問や表敬訪

問を経て、1993年5月12日の当クラブ例会において、台南RCの楊再禮会長夫妻をはじめ33名出席のうえ、姉妹クラブ締結記念式典が挙行されました。

以降、両クラブは周年式典の相互訪問をはじめ親しく交流を重ね、3年ごと8回の姉妹クラブ再締結調印を経て今日に至っております。

このように長年にわたり友好親善交流を続けております台南RCの皆さんが遠路はるばる大勢お越しになりますので、我々も精いっぱいのおもてなしをしたいと準備をしております。改めてご協力の程よろしくお願いいたします。

🏠 ロータリー財団「ベネファクター認証状及び襟ピン」の伝達



ベネファクター 村上 健一 君

● 会務報告 加藤幹事

🌊2020-21年度版ロータリー手帳をご希望の方は
閲覧にて注文を取りまとめますので記入をお願いします。

🌊例会終了後、4階「アマリリス」において創立
50周年行事实行企画調整委員会を開催いたしますので、委員会メンバーは出席願います。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 大本君

本日 (2月6日・木曜日)

会員数 87名 出席者 76名

欠席者 11名 ご来客 0名

ご来賓 3名 ゲスト 1名

計 80名



● 会員記念日

🎂 2月お誕生日おめでとうございます。

(8名)

中村君	刀禰君	森信君
片山君	小宇羅君	上田君
松田君	山縣君	



● スマイルボックス SAA 松田君

👤 森脇君 (自主申告・大枚)

2月3日は節分でした。

住吉神社では平安時代の節分「^{やいか}焼嗅がし」神事を行いました。

鯛の頭 千匹を焼いての厄祓いです。神事のあと柗の枝にさして配りました。「世相を反映した鬼がユニーク」とテレビ放送されました。

天候にも恵まれ多数の参拝者で賑いました。

皆様の今年一年のご多幸を祈念して出宝いたします。

👤 松岡(輝)君 (自主申告・トリプル)

本日2月6日は「海苔の日」です。

昭和41年に全国海苔貝類漁業協同組合連合会が制定したものです。日本初の律令「^{たいほうりつりょう}大宝律令」が施行された701年1月1日を今の暦にすると702年2月6日になるからだそうです。大宝律令に諸国から税を集める際、「諸国の産物」にあたる「^{ちょう}調」として海苔を収めたことに由来しています。ちなみに本日は、観音本町の本社にて「海苔の日」にちなんだ年に1回の売出しを、こっそりしておりますので、通りがかかることがあればのぞいてみてください。16時までです。

👤 バイオレッツメンバーの皆様

今日は、大リーグのホームラン王 ベーブルース (HR王12回、通算HR714本) が誕生した日だそうです。バイオレッツメンバーは (バイオレッツのホームラン王 平原君はダブル) ご出宝をお願いします。

👤 笹野君

1月25日の中国新聞に、週間ベストセラーブック第1位として「Dearボス～トップの秘密のぞき見バラエティ～」という本が紹介されていました。この本は、広島で活躍する12名のボスを取り上げて紹介している本なのですが、なんと、当クラブの笹野君が「業務用青果卸業界のチャレンジャー」として紹介されていました。

👤 荒谷君、川妻君、田中君

広島西法人会の1月号会報によると、荒谷寿一君と川妻 利絵君が令和元年度納税表彰をうけられたそうです。

会報の表紙を飾られた田中 健志君も併せてスマイルにご招待いたします。

■ 職業奉仕部門クラブフォーラム (1月30日例会) まとめ

1月30日に実施したフォーラム「働き方改革について」の意見を集約してみました。

職業奉仕委員会

- ①PCの強制シャットダウンなどで対応しているが、かえって仕事が無効率化してきている。また残業削減した結果、(残業代がなく)手取りが減り、社員からの不満の声が上がりだしている。
- ②働き方改革に対し、問題ないように取り組んだが、手取りを増やすため、自主的に休日出勤している社員も出だした。
- ③医療現場では大変困惑している。従来の診察方法が維持困難に陥っている。主治医対応をやめ、複数人での診察など、一人当たりの仕事の効率化を図ることで対応しているが、患者さんの為になっているかが疑問。
- ④長時間残業が常態化していたため、「仕事の定時化 (定時内で仕事を終了させる)」に取り組んだ結果、「定時あがりこそ、良い仕事」となりつつある。「効率化=正しいサービス」となるよう今後も取り組みを進めていく。
- ⑤事務的な業種においては、時間管理はパソコンを利用するなどしており、また、残業もできるだけしない方向での管理ができています。
- ⑥一定期間のスケジュールをあらかじめ設定し、更に、それでオーバーしていることがわかればその管理者に注意をする。
- ⑦時間外労働は届出と承認を必要とし日報で管理している。

- ⑧長時間労働は禁止している。労働状況は社内ビデオ・PCで管理している。スキルの高い社員に業務が集中し、同一賃金・同一労働の実施は難しい。
- ⑨期首に有休取得日を決めている。サービス業なので接客により残業が増えるのは仕方ない。社員1：パート3の割合で同一賃金は難しい。
- ⑩有給休暇を取得した社員に報酬を支給している企業があるが、多くは事前に計画的に取らせている（休む人が重なって業務に支障が出ないようにという配慮）ところが多い。
- ⑪有給休暇消化率の向上に加え、始業前体操や整理清掃作業が労働時間とみなされ、非常に苦慮している。
- ⑫非正規社員を正社員へ登用するなど、柔軟に対応した結果、社員の仕事に対するモチベーションもあがり好循環を招いている。
- ⑬経済の活性化と一緒に考えていかなければいけない。（賃上げも含めて）
- ⑭取引先の要求に如何に対応できるのかというところが主な点であるということ、その要求が厳しければ改革にも限界がある。

■卓 話

パルクールとは？



全日本パルクール連盟 代表理事
mission パルクール 広島オーナー

荒本 英世氏



Cocoro-to プロダクション 代表取締役
パルクール広島総合プロデューサー
FISE カウントダウンイベント総合プロデューサー

松川 友和氏

パルクールとは

パルクールとはフランスを発祥とするトレーニング文化です。特別な道具を利用することなく、人間が本来持っている移動動作を洗練、発展させる過程を体系的、学問的に技術として実践していきます。昨今の認知度向上による一般的、典型的なイメージである高所での疾走、跳躍、ストリートにおけるアクロバティックな技の数々は、スリルを求め危険を楽しむための無謀な挑戦などでは

なく、身体操作と移動技術の段階的追求の結果であり、実践者の視点からすると乳児が歩行技術を獲得する過程と同列高位に位置し、自由に自身の体を操作し自分が心身ともに望む場所を目指すのと同様の好奇心と努力を継続し続けた結果です。

広島におけるパルクールの今 FISE開催

FISEワールドシリーズ開催によりアーバンスポーツの聖地になりつつあります。日本で初めてパルクール専用屋内練習場ができたのもここ広島です。広島には世界大会に出場した3選手をはじめ多くのトレーサーが存在し、FISEのカウントダウンイベントをはじめ多くのイベントを行っており、認知度もどんどん上がってきています。そんな広島におけるパルクールの今をお話させていただきます。

FISEについて

FISE（フィセ）は「エクストリーム・スポーツ国際フェスティバル」を意味するフランス語のFestival International du Sport Extremeを略した名称です。

BMX、スケートボード、ボルダリング、3×3バスケットボール、パルクール、ブレイキン、マウンテン・バイク、水上スノーボード、インライン・スケートなど、25種目を超えるアーバンスポーツが一同に揃い、アマチュアやプロフェッショナルの男女アスリートが速さや高さなどを競い合う、国際的な都市型スポーツのフェスティバルです。1997年にフランス南部モンペリエで、エクストリーム・スポーツに情熱を持つ学生であった創業者・エルベール・アンドレ・ブノワ（Hervé André-Benoit）によって始められました。年月を経て、国際的にも高い評価を得て、現在、世界最高峰のアクション・スポーツ大会として、確立されています。一般の若者や女性たちがアーバンスポーツに親しめるよき機会であり、友人と家族とともに素晴らしい時間が過ごせるフェスティバルです。

2018年4月に日本で初開催され、翌年に開催された『FISE WORLD SERIES HIROSHIMA 2019』では延べ103,000人が来場し、各競技場の前は多くのファンで賑わい、会場は大きな盛り上がりを見せました。

●卓話予告

日時	テ ー マ
2/20(木)	アナウンサー目線で「カーブ選手の隠れ話」 長谷川 勉 RCCアナウンサー



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 斉藤 昭一
幹事 加藤 博基

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

